令和7年度（2025年度）中学校道徳科用

# 「中学生の道徳」 年間指導計画作成資料　第3学年

学年の基本方針　○○○

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 ○基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5月<br>（3時間） | 5 | **挨拶のちから** | B7 | 礼儀 | 礼儀の意義 | 挨拶に込められた思いや礼儀の意義についての意見交流を通して、相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さに気づき、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。 | ★挨拶や礼儀作法にはどのような意義があるのだろうか。<br><br>1、挨拶についての自分の価値観を考える。<br>マイ・プラス Step1<br>○挨拶はどうして大切にされているのだろう。今のあなたはどう考えるだろう。<br>2、挨拶をめぐっての考えを話し合う。<br>マイ・プラス Step2<br>○挨拶をする人、挨拶をしない人に対して、相手はどのような気持ちになるだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>マイ・プラス Step3<br>○もしあなたが挨拶のある集団、挨拶のない集団で生活するとしたら、それぞれどのような気持ちで過ごすことになるのだろう。Step2で考えたことをもとに考えてみよう。<br>マイ・プラス Step4<br>◎あなたにとって挨拶をより意味のあるものにするためには、どのようなことが大切なのだろう。<br>3、挨拶や礼儀の意味について学んだことや考えたことを記述する。 | ●友達と話し合いながら、個人やさまざまな集団の視点から挨拶や礼儀のよさや大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●教材での学びをもとに、これまでの自分の生活や体験を振り返りながら、相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さについて自分との関わりで考えを深めている記述が見られる。 | ・国語科―言葉の特徴や使い方に関する事項<br>・学級活動―家族・家庭生活（学級や学校における生活上の諸問題の解決） |
| | 6 | **ライバル** | B8 | 友情、信頼 | 心から信頼できる友達 | 友情をめぐる良心の呵責に苦しみながらも、それを乗り越えていこうとする啓介と康夫の心情を共感的に理解することを通して、心から信頼できる友達のよさや大切さに気づき、信頼で結ばれ、互いに励まし合い、高め合う関係を築いていきたいと願う道徳的心情を育む。 | ★「心から信頼できる友達」とは、どのような存在なのだろうか。<br><br>1、普通の友達と「心から信頼できる友達」の違いについて考える。<br>2、二人の思いについて意見交流する。<br>いろいろな見方で考える<br>◎手紙を送った康夫、受け取った啓介はお互いにどのような思いを伝えたいと思うのだろう。それぞれの立場から考えてみよう。<br>考えを深める<br>○康夫の「心との闘い」とはどういうことだろう。また、どうしてそれを啓介に伝えようと思うのだろう。<br>3、自分にとっての信頼できる友達とは、学びを踏まえて、自己の振り返りを促す。 | ●啓介と康夫の心情を通して、「信頼」についてさまざまな視点からとらえ、考えている様子が授業中の交流から見られる。<br>●啓介と康夫に共感しながら、特に啓介の思いを自分に置き換えて想像したり、自分にとっての友達を振り返ったりすることで、信頼と友情について自己との関わりで考えている様子が見られる。 | ・保健体育科―水泳<br>・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）<br><br>【現】スポーツ |
| 6月<br>（4時間） | 7 | **卒業文集最後の二行** | C11 | 公正、公平、社会正義 | いじめの残酷さ | T子さんへのいじめを悔いる筆者の心情について考えることを通して、人間性をないがしろにするいじめの残酷さと、そんな愚かないじめを引き起こす人間の弱さや醜さに気づき、差別や偏見、いじめや不正な言動を断固として許さない道徳的態度を養う。 | ★いじめの残酷さとは、どのようなところにあるのだろうか。<br><br>1、「『いじめ』を考える」ユニットのはじめの教材で、しっかり考えていくことを押さえる。<br>2、最後の二行にしぼり話し合う。<br>自分を見つめて考える<br>◎卒業文集最後の二行を見て、果てもなく泣いた筆者はどのようなことを思っていたのだろう。<br>考えを深める<br>○卒業文集最後の二行には、T子さんのどのような思いが込められているのだろう。<br>3、本時の学びを自分の言葉で表現する。<br>自分との対話<br>○あなたは、いじめの残酷さとはどのようなところにあると思うだろう。 | ●友達の考えを聞きながら、登場人物の心情やいじめの残酷さについて、さまざまな視点からとらえ、考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●いじめを引き起こす人間の弱さや醜さも理解し、いじめをなくすことの難しさも理解しながら、自分自身の心のあり方について考えている様子が見られる。 | ・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決）<br><br>【現】いじめ防止の指導、人権教育 |
| | 8 | **君たちはどう考え、どう生きるか** | D22 | よりよく生きる喜び | いじめと道徳 | さまざまな意見を読んで、いじめと人間としての生き方について考え、いじめの残酷さやその根底にある人間の弱さや醜さに気づき、自らの弱さや醜さと向き合って、それを乗り越えていこうとする道徳的態度を養う。 | ★いじめはどうして起きるのか。どうしてなくなっていないのか。<br><br>1、前の時間の記述などを振り返る。<br>2、これまでの学校生活で、いじめについてどのようなことを考えたか想起する。<br>自分を見つめて考える<br>○いじめに関するそれぞれの意見について、あなたはどう思うだろう。また、特に気になった意見はあるだろうか。<br>考えを深める<br>◎いじめがなかなかなくならないこの世界で、あなたはこれからどのように生きていきたいだろう。自分にできることや大切にしたいことを考えてみよう。<br>3、全学年の「『いじめ』を考える」のユニットの最後として授業を総括し、振り返り考えをまとめる。 | ●教科書の意見や友達の考えをききながら、いじめの問題に関わる人間の弱さや醜さについて、さまざまな視点からとらえて考えている様子がうかがえる。<br>●人間の弱さや醜さがもたらすいじめの解決の難しさを理解しながら、これまでの学習を振り返ったり、自分の考えを見直したりしながら、自己の生き方について考えている様子がうかがえる。 | ・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決）／日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）<br><br>【現】いじめ防止の指導、人権教育 |
| | 9 | **六万円のご縁** | B6 | 思いやり、感謝 | 温かい人間愛 | 崎元さんが捜してくれていることを知った猪野屋さんの涙のわけを考えることを通して、互いを思いやり、尊重し合う人間愛の尊さに気づき、思いやりをもって人と接するとともに、自分を支えてくれる人々に感謝し、応えようとする道徳的態度を養う。 | ★人間の優しさや温かさを、どのようなところに感じるか。<br><br>1、今までに思いやりを受け感謝したことを思い出す。<br>2、二人の心の交流を押さえる。<br>いろいろな見方で考える<br>○再会した二人はプレゼントとともに、どのような思いを交わしたのだろう。それぞれの立場から考えてみよう。<br>考えを深める<br>◎崎元さんが自分を捜していることを知った猪野屋さんが、涙が出るほどうれしかったのは、どうしてなのだろう。<br>3、授業を振り返り考えをまとめる。 | ●友達の考えを聞きながら、猪野屋さんの涙のわけをさまざまな視点からとらえ、互いを思いやり、尊重し合う人間愛の尊さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●温かい心で支え合う人間の姿について感じたことを、自分自身の生活や経験と重ねて考えている発言や記述が見られる。 | ・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（自他の個性の理解の尊重、よりよい人間関係の形成）<br><br>【D】資料付き |

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 〇基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6月<br>（4時間） | 10 | **監督がくれたメダル** | C15 | よりよい学校生活、集団生活の充実 | 役割と責任の自覚 | 嫌だったノックを丁寧に打つようになった「私」の心の変化について考えることを通して、集団における役割を果たすよさや大切さに気づき、自己の所属する集団の意義や役割を理解し、責任を自覚して集団生活の充実に努める道徳的実践意欲を培う。 | ★集団における自己の役割と責任を果たすことは、どうして大切なのだろう。<br><br>1、題材を意識する。<br>2、「私」の見方や考え方が変わった理由を時間をかけて話し合う。<br>自分を見つめて考える<br>◎「私」がノックを丁寧に打つようになったのは、どうしてだろう。<br>考えを深める<br>〇「監督がくれたメダル」には、どのようなメッセージが込められているのだろう。<br>3、学校行事や部活動などに触れて、自己の役割と責任について振り返りを促す。 | ●友達の意見を聞きながら、「私」の見方や考え方の変化について、さまざまな視点で考えている様子が授業中の交流や記述から見られる。<br>●「私」の心の変化を自分自身に置き換えて想像したり、自分の学校生活などを振り返ったりしながら、集団と役割について考えを深めている様子が見られる。 | ・保健体育科―球技（ベースボール型）<br>・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学校における多様な集団の生活の向上）<br><br>【現】スポーツ |
| 7月<br>（2時間） | 11 | **ピヨ子** | A1 | 自主、自律、自由と責任 | 責任の自覚 | さくらの画像が拡散したことへの登場人物の姿勢について考えることを通して、情報社会における行為と責任の関係を見つめ直すことの大切さに気づき、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 | ★どうして人は、時に無責任になってしまうのだろうか。<br><br>1、情報機器の手軽さに触れてから、教材に入る。<br>2、さまざまな立場から考え意見交流する。<br>いろいろな見方で考える<br>〇この話の中で責任を負うべきなのは、誰なのだろう。それぞれの登場人物の立場から考えてみよう。<br>考えを深める<br>◎どうして誰も、自分が悪かったという素振りを見せないのだろう。<br>3、自己を振り返り、考えをまとめる。<br>（Thinkingを読んで情報拡散の怖さを知る。） | ●さまざまな登場人物の視点から、無責任な態度の根底にある、情報社会における行為と責任の関係の難しさについて考えている様子が授業中の交流から見られる。<br>●情報社会における行為と責任の関係の難しさを自分事として理解しながら、自己の行為に責任をもつことについて、考えを深めている様子が記述からうかがえる。 | ・技術・家庭科―情報の技術<br>・総合―情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化<br>・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決）<br><br>【現】いじめ防止の指導、人権教育／情報モラル教育<br><br>【D】資料付き |
| | 12 | **リアルとネットの不思議** | A2 | 節度、節制 | 安全で調和のある生活 | 現実の生活に置き換えるとおかしなことがインターネット上ではよく起きている理由を考えることを通して、情報機器では度を過ごしやすくなることの要因とより慎重に考えることの大切さに気づき、節度を守り、安全で調和のある生活を送ろうとする道徳的判断力を高める。 | ★「立ち止まって考える」ことは、どのような意味があるのか。また何を考えるのか。<br><br>1、ネット上のトラブルや事件を出し合う。<br>2、一人で考える時間を設けたあと、ペアやグループで意見を交流する。<br>いろいろな見方で考える<br>〇現実の生活に置き換えるとおかしなことが、どうしてインターネット上では起きるのだろう。できるだけたくさんの理由をあげてみよう。<br>考えを深める<br>◎情報社会で「もう一度考える」のはどうして大切なのだろう。また、何を考えるのが大切なのだろう。<br>3、自己の生活を振り返り、考える。<br>自分との対話<br>〇生活習慣を整え、健康で安全な生活を送るために、あなたはどのようなことを大切にしたいだろう。 | ●友達と意見を交流しながら、インターネット上の問題をさまざまな視点からとらえ、つい度を過ごしてしまう人間の問題について考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●情報社会において、節度を守り、安全で調和のある生活を送ることについて、自分自身の生活を振り返ったり、考えを見直したりしながら考えている様子が見られる。 | ・技術・家庭科―情報の技術<br>・総合―情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化<br>・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成）<br><br>【現】いじめ防止の指導、人権教育／情報モラル教育／防災教育<br><br>【D】資料付き |
| 9月<br>（4時間） | 13 | **海と空<br>―樫野の人々** | C18 | 国際理解、国際貢献 | 国と国との友好の絆 | エルトゥールル号の話を知った「私」の思いについて考えることを通して、国境を越えて助け合う人間のよさや気高さに気づき、世界の平和と人類の発展のため、他国の人々と支え合い、助け合うことを願う道徳的心情を育む。 | ★国と国とをつなぐものとは、どのようなものがあるだろう。<br><br>1、【D】動画でイラン・イラク戦争の状況を確認し、教材に入る。<br>2、「私」への自我関与を通して、意見交流する。<br>自分を見つめて考える<br>〇樫野の人々がありったけの食料を提供してまでもトルコの人たちを救おうとしたのは、どのような思いからだろう。<br>考えを深める<br>◎海と空とが水平線で一つになるのを見ながら、「私」はどのようなことを考えていたのだろう。<br>自分との対話<br>〇国と国とをつなぐものには、どのようなものがあるだろう。<br>3、【D】動画を視聴し余韻をもって終わる。 | ●友達の意見を聞きながら、国境を越えて助け合う人間のよさや気高さについて、さまざまな視点から考えている様子が授業中の交流から見られる。<br>●国境を越えて協力することや異なる立場の相手を受け入れることについて、その難しさも理解しながら、他国との友好や国際平和を願う様子が見られる。 | ・社会科―歴史：近現代の日本と世界（現代の日本と世界）／公民：私たちと国際社会の諸課題（世界平和と人類の福祉の増大／よりよい社会を目指して）<br><br>【現】生命尊重教育／国際理解教育<br><br>【D】資料付き |
| | 14 | **ベビーカー論争** | C10 | 遵法精神、公徳心 | 公徳心 | ベビーカー論争の解決について考えることを通して、社会生活における公徳心の大切さに気づき、遵法精神とそれを支える公徳心を大切にして、誰もが暮らしやすい安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。 | ★皆が暮らしやすい社会のための「公徳心」とは、どのような心なのだろうか。<br><br>1、【D】調査結果に関する動画を視聴し、社会に「すれ違い」が起きていることを確認する。<br>2、一人で考える時間を設けたあと、ペアやグループで意見を交流する。<br>いろいろな見方で考える<br>〇それぞれの意見を読んで、あなたはどのように感じ、考えただろう。それぞれ思いつくことをあげてみよう。<br>考えを深める<br>◎ベビーカー論争がなかなか解決しないのはどうしてなのだろう。また、解決のためにはどのようなことが必要なのだろう。<br>3、学習したことをもとに、自己の振り返りを記述する。<br>自分との対話<br>〇皆が住みよい社会の実現に向けて、あなたはどのようなことを大切にしていきたいだろう。 | ●友達の意見を聞きながら、よりよい社会のあり方とそれを支える公徳心について、さまざまな視点から考えている様子が授業中の交流から見られる。<br>●さまざまな人々の立場を知り、ベビーカー論争を解決することの難しさも理解しながら、よりよい社会をつくることについて自分の考えを深めている様子が見られる。 | ・社会科―公民：私たちと現代社会（私たちが生きる現代社会と文化の特色、現代社会をとらえる枠組み）<br>・技術・家庭科―家族・家庭生活（幼児の生活と家族）<br>・学校行事―旅行・集団宿泊的行事（修学旅行、移動教室など）<br>【現】社会参画に関する教育<br>【D】資料付き |

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 〇基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9月<br>（4時間） | 15 | **目の見えない白鳥さんとアートを見にいく** | B9 | 相互理解、寛容 | 相互理解を深める意義 | 目の見えない白鳥さんとの鑑賞体験における鑑賞者の変化について考えることを通して、いろいろなものの見方や考え方を学ぶことで自己を高めていけることに気づかせ、寛容の心でそれぞれの個性や立場を尊重しようとする道徳的態度を養う。 | ★相互理解を深めることは、なぜ大切か。また、そのために大切なことは何か。<br><br>1、【D】導入用動画を視聴して、白鳥さんについて知る。<br>2、鑑賞者たちの変化について、意見を出し合う。<br>マイ・プラス Step1<br>◎「白鳥さんに作品を見せてあげているようで、本当の意味で作品を見せてもらっているのは自分たちかもしれない。」というのは、どういうことだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>マイ・プラス Step1<br>〇目の見えない白鳥さんがアート鑑賞を続けているのは、どうしてだろう。<br>3、授業を振り返り考えを深める。<br>マイ・プラス Step2<br>〇みんなで作品を見ることで新しい「まなざし」を獲得するというのは、どういうことだろう。 | ●鑑賞者の変化について、相互理解から新たな気づきや、異なる意見を知ることの楽しみを得られることなど、さまざまな視点からとらえ、考えを深めている様子がうかがえる。<br>●教材からの学びをもとに、相互理解が自分を高めることや、相互理解を深めるために大切なことについて、自分の考えを見直しながら考えを深めている。 | ・社会科―歴史：近世までの日本とアジア（中世の日本）<br>・美術科―鑑賞<br>・総合―地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々<br>・学校行事―文化的行事（鑑賞会など）<br><br>【現】社会参画に関する教育／伝統文化教育／福祉教育<br><br>【D】資料付き |
| | 16 | **分身ロボットカフェへようこそ** | C13 | 勤労 | 勤労の意義 | 分身ロボットカフェで働く酒井さんの思いを考えることを通して、自分の能力を発揮して、社会に参加することで得られる勤労の喜びや充実感に気づき、勤労を通じて社会に貢献していこうとする道徳的実践意欲を培う。 | ★人間にとって、働くことはどうして大切なのだろう。<br><br>1、【D】動画から分身ロボットカフェの様子を知る。<br>2、一人で考える時間を設けたあと、ペアやグループで意見を交流する。<br>いろいろな見方で考える<br>◎酒井さんが「働きたくないと思ったことは一度もない」といえるのは、どうしてだろう。できるだけたくさんの理由をあげてみよう。<br>考えを深める<br>〇人が「働く」ことにはどのような意味があるのだろう。さまざまな視点から考えてみよう。<br>3、自分が将来働いている姿を想像しながら、自分の生き方について考える。<br>自分との対話<br>〇今のあなたは将来働くことを通して、どのような自分になりたいと思っているだろう。<br>（Thinkingを読んで、共生社会のあり方を考える。） | ●友達の考えを聞きながら、酒井さんが前向きに仕事に取り組む理由をさまざまな視点からとらえ、考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●酒井さんや吉藤さんへの共感をもとに、自身の将来を想像しながら、働くことの大切さについて考えを深めている様子が記述からうかがえる。 | ・総合―働くことの意味や働く人の夢や願い（勤労）<br>・学級活動―一人一人のキャリア形成と自己実現（社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成）<br>・学校行事―勤労生産・奉仕的行事（職場体験活動、上級学校や職場の訪問・見学など）<br><br>【現】社会参画に関する教育／キャリア教育／いじめ防止の指導、人権教育<br><br>【D】資料付き |
| 10月<br>（4時間） | 17 | **月明りで見送った夜汽車** | B6 | 思いやり、感謝 | 思いやりの心 | I先生の気持ちを察して電気を消すY先生と、それに対して声をあげ拍手を送る先生たちの思いについて考えることを通して、相手の重荷にならない思いやりのよさや大切さに気づき、深い理解と共感に基づく思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。 | ★人の心にしみるような思いやりとは、どのようなものだろう。<br><br>1、挿絵から情景を想像しながら範読を聞く。<br>2、みんなの声と拍手の意味を考える。<br>自分を見つめて考える<br>◎オーという声と拍手には、どのような思いが込められているのだろう。<br>考えを深める<br>〇「胸がじいんとしてきました。」という筆者は、どのようなことを思っているのだろう。<br>3、本時を振り返る。<br>自分との対話<br>〇あなたは、この話のどのようなところが心に残っただろう。 | ●友達の考えを聞きながら、Y先生の行為に対する先生たちの思いを、尊敬や同意、感動などさまざまな視点からとらえ、考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●登場人物への共感をもとに、自分自身の感じたことや考えたことについて振り返っている様子が記述からうかがえる。 | ・生徒会活動―学校行事への協力 |
| | 18 | **ドナー** | D19 | 生命の尊さ | 生命倫理をめぐる葛藤 | 二つの投書の意見の根底にある命に対する感じ方や考え方を探り、生命倫理の問題について考えることを通して、人間の生命は多面的・多角的にとらえることができることに気づき、自他の生命の尊厳を守る道徳的態度を養う。 | ★生命倫理をめぐる葛藤は、どうして起こるのか。<br><br>1、「脳死」について知る。<br>2、投書の考えを整理し意見交流する。<br>いろいろな見方で考える<br>◎自分や家族の臓器提供について、これほど悩むのはどうしてだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>考えを深める<br>〇「あげたくない、でも、もらいたい。」という考えを、あなたはどう思うだろう。<br>3、本時の学びを踏まえて、自己の振り返りを図る。<br>（Thinkingを読んで生命倫理の問題に目を向ける。） | ●さまざまな意見を聞きながら、生命倫理における悩みの理由を、生命尊重の心や生命のとらえ方の違いなど、さまざまな視点でとらえ考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●生命倫理の問題の難しさを自分なりに理解しながら、自分自身の思いや考えを見直している様子がうかがえる。 | ・理科―科学技術と人間／生命の連続性<br>・技術・家庭科―家族・家庭生活（家族・家庭や地域との関わり）<br><br>【現】生命尊重教育（生命倫理）／福祉教育<br><br>【D】資料付き |

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 〇基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10月<br>（4時間） | 19 | **リクエスト** | A1 | 自主、自律、自由と責任 | 責任ある判断 | 自分たちの軽はずみな行為を悔やむ伊藤君たちの心情を共感的に理解することを通して、自律的な思考や判断と責任の大切さに気づき、自主的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 | ★責任ある判断を行い、自律的に生きるためには、どのような考え方が大切か。<br><br>1、DJやラジオ番組について知る。<br>2、伊藤君たちの心情をとらえ意見交流する。<br>自分を見つめて考える<br>〇伊藤君はバスの中で涙を流しながら、どのようなことを考えていたのだろう。<br>考えを深める<br>◎この出来事を通じて、伊藤君たちが学んだのはどのようなことだろう。<br>3、教材の学びを踏まえて、自己を振り返る。<br>自分との対話<br>〇あなたは、何が正しく、何が誤りかを、どのように考えて判断しているだろう。 | ●友達の意見を聞きながら、伊藤君たちの判断の問題についてさまざまな視点からとらえ、考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●伊藤君たちの立場を自分自身に置き換えて想像したり、自分自身の体験を振り返ったりしながら、自律的な思考や判断と責任の大切さについて考えを深めている様子が見られる。 | ・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） |
| | 20 | **二通の手紙** | C10 | 遵法精神、公徳心 | 法やきまりの意義 | 元さんが二通の手紙から「この年になって初めて考えさせられること」について考えることを通して、法やきまりには安全や秩序を守るなど立法された意義があることに気づき、主体的に遵法することで規律ある安定した社会の実現に努める道徳的判断力を高める。 | ★法やきまりとはなんのために、また誰のためにあるのだろう。<br><br>1、舞台となる動物園には、規則があることを確認する。<br>2、二通の手紙を並べて話し合う。<br>自分を見つめて考える<br>◎元さんが「この年になって初めて考えさせられること」とは、どのようなことだろう。<br>考えを深める<br>〇動物園の規則はなんのために定められているのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>3、規則は「なんのために・誰のために」にあるのかを振り返る。 | ●職を辞した元さんや冒頭の佐々木さんの思いから、規則の意義や規則に込められている思いをさまざまな視点からとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●自分の生活や体験を振り返って身の回りの規則の意義を考えたり、規則を守ることの意味について自分の考えを見直したりしている発言や記述が見られる。 | ・社会科―公民：私たちと現代社会（現代社会をとらえる枠組み）／私たちと経済（市場の働きと経済）<br>・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成）<br><br>【現】法教育 |
| 11月<br>（4時間） | 21 | **風に立つライオン** | A4 | 希望と勇気、克己と強い意志 | 理想を追い求める | 「風に向かって立つライオンでありたい」と願う「僕」の生き方について考えることを通して、人生の理想を追い求める生き方を支える意志や希望に気づき、自らの人生を切り拓いていく気高さを尊ぶ道徳的心情を育む。 | ★自分の理想を追い求める生き方を支えるのは、どのような思いなのだろう。<br><br>1、元恋人からもらった結婚を知らせる手紙に対する返事を、歌にしたものだということを押さえる。<br>2、「僕」の生き方について考える。<br>自分を見つめて考える<br>◎「僕は風に向かって立つライオンでありたい」とは、どのような生き方なのだろう。<br>考えを深める<br>〇自分の理想を追い求める生き方を支えるのは、どのような心なのだろう。<br>3、話し合いを通じて触れた、さまざまな意見をもとに自分の考えを見つめる。<br>自分との対話<br>〇このような自分の理想を追い求める生き方について、あなたはどう思うだろう。 | ●友達の考えを聞きながら、理想を追い求める生き方を支える思いについて、希望や克己などさまざまな視点からとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●「僕」の心情を共感的に理解しながら、自分の人生の理想を追い求めることについて、自分自身の見方や考え方を見直している様子がうかがえる。 | ・音楽科―観賞<br>・総合―働くことの意味や働く人の夢や願い<br>・学級活動――人一人のキャリア形成と自己実現（主体的な進路の選択と将来設計）<br><br>【現】国際理解教育／キャリア教育 |
| | 22 | **二人の進路選択** | B8 | 友情、信頼 | 心からの信頼 | 進路選択で相手を信じることができずにすれ違う二人の心情を考えることを通して、互いの人間性を信じて思いを伝え合える信頼の大切さに気づき、互いに理解を深め、悩みや葛藤を経験しながら築かれた信頼に基づく人間関係を尊ぶ道徳的心情を育む。 | ★信頼し合う友情を育むためにどのような思いが必要なのだろうか。<br><br>1、友達について振り返りテーマを押さえる。<br>2、二人の思いを想像する。<br>いろいろな見方で考える<br>◎このあと、二人はお互いにどのようなことを伝えるのだろう。それぞれの立場から考えてみよう。<br>考えを深める<br>〇信頼で結ばれた人間関係を築くためには、お互いにどのような思いが大切なのだろう。<br>3、自分が友達にとって信頼できる友であるかを振り返る。 | ●それぞれの立場から信頼で結ばれた関係を築くための思いを考え、互いの成長と幸せを願う気持ちや心から分かり合おうとする気持ちなどさまざまな視点からとらえて考えを深めている様子がうかがえる。<br>●心から信頼し合う関係を築くことの難しさも理解しながら、自分自身を振り返って、よりよい友情のあり方を考える様子が見られる。 | ・保健体育科―心身の機能の発達と心の健康<br>・総合―職業の選択と社会への貢献<br>・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（男女相互の理解と協力）／一人一人のキャリア形成と自己実現（主体的な進路の選択と将来設計）<br><br>【現】キャリア教育 |

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 〇基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11月<br>（4時間） | 23 | **小浜のさば缶、宇宙へ行く** | A5 | 真理の探究、創造 | 探究して新しいものを生み出す | 宇宙食さば缶の開発に取り組んだ生徒たちの思いについて考えることを通して、新しい可能性への好奇心や探究心のよさや大切さに気づき、真理を探究して、新しいものを生み出していこうとする道徳的実践意欲を培う。 | ★人が新しい可能性を探究し続けるのは、どのような思いからなのだろう。<br><br>1、【D】動画を視聴して、そのまま教材に入る。<br>2、村橋さんたちの探究を支えていた思いを考える。<br>自分を見つめて考える<br>◎何度も失敗をしながらも村橋さんたちがくじけなかったのは、どうしてなのだろう。<br>考えを深める<br>〇宇宙食の研究とともに後輩たちに受け継がれていったのは、どのような思いだったのだろう。<br>3、授業を通して、感じたことや考えたことを記述する。<br>自分との対話<br>〇どうして人は、探究することに夢中になるのだろう。 | ●友達の考えを聞きながら開発に取り組んだ高校生たちの思いを、探究の楽しさや発見のうれしさなどさまざまな視点からとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●高校生たちの思いを自分自身に置き換えて想像したり、自分の考えを見直したりしながら、探究することのよさや大切さについて考えを深めている様子がうかがえる。 | ・社会科―地理：日本の様々な地域（日本の諸地域／地域の在り方）<br>・技術・家庭科―材料と加工の技術<br>・総合―職業の選択と社会への貢献<br>・学級活動―一人一人のキャリア形成と自己実現（社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成）<br><br>【現】キャリア教育／伝統文化教育／食育／健康教育／消費者教育<br><br>【D】資料付き |
| | 24 | **二人の弟子** | D22 | よりよく生きる喜び | 人間としての生き方・あり方 | フキノトウを見て再起しようとする道信や、純白の白百合を見て涙を流す智行の思いについて考えることを通して、自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さに気づき、人間としてよりよく生きる喜びを見いだしていこうとする道徳的実践意欲を培う。 | ★人間としての生き方やあり方とは、どのようなものなのだろう。<br><br>1、学僧の修行の厳しさをイメージする。<br>2、智行の思いを想像し、人間としての生き方について考える。<br>自分を見つめて考える<br>◎智行が道信の帰りを許せない本当の理由は何だろう。<br>考えを深める<br>〇「人は皆自分自身と向き合って生きていかねばならない」とは、どういうことなのだろう。<br>3、授業を通して、感じたことや考えたことを記述する。 | ●友達の考えを聞きながら、道信の帰りを許せず、白百合に涙する智行の思いをさまざまな視点でとらえながら考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●智行や道信を自分自身に置き換えながら想像し、自分の弱さや醜さを乗り越えていきたいという思いについて自己との関わりで考えている様子がうかがえる。 | |
| 12月<br>（3時間） | 25 | **尊い玉子** | C14 | 家族愛、家庭生活の充実 | 家族の一員として | 事情を聞いた家の主人の視点から、「私」、姉、母の思いについて考えることを通して、深い愛情で結ばれた家族のよさに気づき、感謝と敬愛の念をもって家庭生活を築き、共に支え合う家族を大切にする道徳的心情を育む。 | ★共に家庭生活を築いていく家族とは、どのような存在なのだろう。<br><br>1、「学徒出陣」について知る。<br>2、主人の思いについて話し合う。<br>いろいろな見方で考える<br>◎家の主人は話を聞いて、どのようなことを思ったのだろう。母、姉、「私」それぞれへの思いについて考えよう。<br>考えを深める<br>〇家の主人は、姉と母のどういうところをそれぞれ「立派」と思ったのだろう。<br>3、自分にとって家族とは何かを振り返る。 | ●事情を聞いた家の主人の思いや考えについて、家族それぞれへの思いや家族全体への思いなど、さまざまな視点からとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●　登場人物を自分自身に置き換えて想像しながら、互いを思い合い、支え合おうとする家族の愛情について考えを深めている様子がうかがえる。 | ・社会科―歴史：近現代の日本と世界（近代の日本と世界）<br>・技術・家庭科―家族・家庭生活（家族・家庭や地域との関わり） |
| | 26 | **襟裳のこと** | D20 | 自然愛護 | 自然との共生 | 襟裳の人々による自然再生の取り組みを知り、人間が自然と共存していくことについて話し合うことを通して、自然の崇高さや自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。 | ★自然と共生していくためには、どのような思いや考え方が大切なのだろう。<br><br>1、本時の学習課題を意識する。<br>2、人間と自然との関わりを多面的・多角的に考える。<br>自分を見つめて考える<br>◎襟裳の人々は約30年にも及ぶ自然との闘いから、どのようなことを学んだのだろう。<br>考えを深める<br>〇人間が自然と共存していくためには、どのような思いや考え方が大切なのだろう。<br>3、授業を通して感じたことや考えたことを記述する。 | ●友達の考えを聞きながら、人間と自然との関係や自然との共生における心構えや考えなどを、さまざまな視点からとらえて考えを深めている様子がうかがえる。<br>●　人間と自然との関係や自然との共生における心構えや考えなどを、自分の生活や現代社会との関わりで考えを深めている様子がうかがえる。 | ・社会科―地理：日本の様々な地域（日本の地域的特色と地域区分／日本の諸地域／地域の在り方）<br>・理科―大地の成り立ちと変化／気象とその変化／自然と人間<br>・総合―地域の自然環境とそこに起きている環境問題<br>・学校行事―旅行・集団宿泊的行事（修学旅行、野外活動など）<br><br>【現】環境教育<br><br>【D】資料付き |
| | 27 | **ゼロ・ウェイストの町―徳島県上勝町** | C12 | 社会参画、公共の精神 | 社会参画と社会連帯 | ゼロ・ウェイスト政策を推進する上勝町の人々の思いを考えることを通して、社会の形成に主体的に参画し、多くの人々と助け合いながら社会連帯を深め、社会的な役割と責任を果たす大切さに気づき、よりよい社会の実現を目指す道徳的実践意欲を培う。 | ★よりよい社会づくりを進めるためには、どのようなことが大切なのだろう。<br><br>1、【D】動画を視聴し、上勝町について知る。<br>2、上勝町の政策の危機を考える。<br>自分を見つめて考える<br>◎リサイクル率が下がってしまったとき、町の担当者やゴミステーションのスタッフは町の人にどのようなことを伝えたのだろう。<br>考えを深める<br>〇上勝町がゼロ・ウェイストを通して目指す、本当の目標とは、どのようなものなのだろう。<br>3、授業を通して感じたことや考えたことを記述する。 | ●危機を乗り越えられた理由をさまざまな視点からとらえ、社会参画の意義や社会連帯の大切さについて考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●主体的に社会参画することの意義や、社会連帯の大切さについて、自分の考えを振り返ったり、見直したりしている発言や記述が見られる。 | ・社会科―公民：私たちと現代社会（私たちが生きる現代社会と文化の特色、現代社会をとらえる枠組み）<br>・総合―地域の自然環境とそこに起きている環境問題<br>・学級活動―一人一人のキャリア形成と自己実現（社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の醸成）<br><br>【現】社会参画に関する教育／環境教育／消費者教育<br><br>【D】資料付き |

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 〇基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1月<br>（3時間） | 28 | **ある元旦のこと** | B6 | 思いやり、感謝 | 心の通い合い | 挨拶板に深々と頭を下げる少年を目撃した筆者の感動を共感的に理解することを通して、人と人の心の通い合いのよさに気づき、人は互いに支え合って生きていることを自覚し、思いやりと感謝の心をもって他者に接しようとする道徳的実践意欲を培う。 | ★どうして人は感謝の心に、心を動かされるのか。<br><br>1、正月の風景をイメージし、簡単に題材を意識する。<br>2、少年の礼に込められた思いを考える。<br>自分を見つめて考える<br>〇少年が帽子を脱いで、挨拶板に向かって頭を下げたのは、どのような思いからだったのだろう。<br>考えを深める<br>◎筆者が涙さえ込み上げるほどに感動したのは、どうしてなのだろう。<br>3、授業を通して感じたことや考えたことを記述する。<br>自分との対話<br>〇あなたには、思いやりや感謝の心に触れて、心を動かされた経験はあるだろうか。 | ●筆者の感動について、父や少年の思いなどさまざまな視点からとらえ、考えを深めている様子が授業中の交流から見られる。<br>●自分自身の体験を振り返るなど、思いやりや感謝の心について、自己との関わりで考えを深めている様子や記述が見られる。 | ・総合―働くことの意味や働く人の夢や願い<br>・学校行事―勤労生産・奉仕的行事（職場体験活動、上級学校や職場の訪問・見学など）<br><br>【現】消費者教育 |
| | 29 | **誰かのために** | D19 | 生命の尊さ | 人が生きるということ | 残りわずかな時間を子どもたちのために必死に生きようとする母の姿から、「誰かのために生きる」ことについて考えることを通して、生命の尊さを有限性や関係性など多面的・多角的に理解し、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。 | ★人が生きるということには、どのような意味があるのだろう。<br><br>1、本時の学習課題を知る。<br>2、母の生き方について話し合う。<br>いろいろな見方で考える<br>〇母はどのような思いで最後のおむすびを握ったのだろう。また、そのおむすびを娘はどのような思いで見つめていたのだろう。<br>考えを深める<br>◎母が必死に生きて、子どもたちにバトンタッチした「大切なこと」とは何だろう。<br>3、授業を振り返り自分の考えを見つめる。<br>自分との対話<br>〇あなたは「命は長さじゃない」という言葉をどのように受け止めただろう。 | ●友達の考えを聞きながら、人が生きるということについて、さまざまな生命の意味の視点からとらえ、考えを深めている様子がうかがえる。<br>●筆者や友達の考えと比べながら、人が生きるということの意味について、自分の考えを見つめている様子が授業中の交流や記述からうかがえる。 | ・国語科―読むこと<br>・理科―科学技術と人間／生命の連続性<br>・保健体育科―心身の機能の発達と心の健康<br>・技術・家庭科―家族・家庭生活（家族・家庭や地域との関わり）<br>・総合―生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ<br><br>【現】生命尊重教育（生命倫理） |
| | 30 | **ネルソン・マンデラ** | C11 | 公正、公平、社会正義 | 差別や偏見のない社会 | ネルソン・マンデラが目指した理想の実現について考えることを通して、差別する人間の弱さと受け入れる者の強さに気づき、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接して、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。 | ★差別や偏見をなくすためには、どのようなことが大切なのだろう。<br><br>1、南アフリカ共和国の位置を確認（P.146）し、アパルトヘイトを簡単に押さえて教材に入る。<br>2、マンデラが目指したものを考える。<br>いろいろな見方で考える<br>◎マンデラは、ラグビー・ワールドカップを応援することで誰に何を伝えたかったのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>考えを深める<br>〇マンデラが世界に残した「大きな財産」とは、どのようなものだろう。<br>3、授業を通して感じたことや考えたことを記述する。 | ●マンデラのとった行動や彼の目指した理想について、黒人や白人の立場を理解しながらさまざまな視点でとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●差別をしてしまう人間の弱さに気づき、公正・公平であることの難しさも理解しながら、弱さを乗り越える人間の生き方について考えを深めている様子が見られる。 | ・社会科―公民：私たちと国際社会の諸課題（世界平和と人類の福祉の増大／よりよい社会を目指して）<br><br>【現】いじめ防止の指導、人権教育／国際理解教育<br><br>【D】資料付き |
| 2月<br>（3時間） | 31 | **響け、私のトロンボーン** | D22 | よりよく生きる喜び | 人間としての誇りある生き方 | 自分の弱さや醜さに気づき、それを乗り越えようとした弥生の思いを考えることを通して、人間としての誇りある生き方のよさや気高さに気づき、自らも弱さや醜さを乗り越えながら、よりよく生きていこうとする道徳的実践意欲を培う。 | ★人間としての誇りある生き方とは、どのような生き方か。<br><br>1、学習課題を押さえて教材に入る。<br>2、弥生の思いについて話し合う。<br>自分を見つめて考える<br>〇先輩たちの話を聞いた弥生は、どのようなことを思っていたのだろう。<br>考えを深める<br>◎最後の演奏会の日まで、弥生はどのような思いで練習してきたのだろう。<br>3、授業を通して感じたことや考えたことを記述する。 | ●弥生が自分の弱さや醜さを乗り越えようとする思いについて、友達との意見交流を踏まえて、さまざまな角度から考えを深めようとしている様子が見られる。<br>●弥生を自分に置き換えて想像しながら、よりよく生きることの難しさやそれを乗り越えて誇り高く生きていこうとする気高さを自分事としてとらえ考えている様子が見られる。 | ・音楽科―表現<br>・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸問題の解決） |
| | 32 | **運命の木<br>―姫路城の大柱** | C17 | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 伝統文化を守り受け継ぐ | 姫路城の大柱に込められた人々の思いを共感的に理解することを通して、先人の残した伝統文化の大切さとそれを守り受け継いでいくことの意義に気づき、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。 | ★人が伝統文化を守り受け継ぐことには、どのような意味があるのか。<br><br>1、姫路城について知る。<br>2、姫路城の修復にかける人々の思いを考える。<br>いろいろな見方で考える<br>〇「運命の木」には、誰のどのような思いが込められているのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>考えを深める<br>◎私たちは、どうして伝統を守っていく必要があるのだろう。<br>3、授業を通して感じたことや考えたことを記述する。 | ●国や郷土の伝統文化を守り受け継いでいくことの意義を、過去・現在・未来などさまざまな人々の視点でとらえ考えを深めている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●登場人物の思いを想像したり友達の考えを聞いたりして、自分の思いや考えと比べながら、伝統文化を守り受け継ぐことの意味について考えている様子がうかがえる。 | ・社会科―歴史：近世までの日本とアジア（近世の日本）<br>・美術科―鑑賞<br>・技術・家庭科―材料と加工の技術<br>・総合―地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々<br><br>【現】伝統文化教育<br><br>【D】資料付き |

| 月<br>（配当時間） | 教材名 | | 内容項目 | | 主題名 | ねらい | 学習指導過程<br>（「生徒に考えさせたいこと★」、主な発問など）<br>◎中心発問、 〇基本発問 | 生徒評価の視点 | 各教科や領域、<br>【現】現代的な課題との関連、<br>【D】デジタル資料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2月<br>（3時間） | 33 | **メジロ** | D21 | 感動、畏敬の念 | 畏敬の念 | メジロの命を奪ってしまった「私」の思いを共感的に理解することを通して、人間には人の力を超えたものを素直に感じ取り、畏れ敬う心があることに気づき、生命の尊さを自覚し、人間としてのあり方を見つめていこうとする道徳的実践意欲を培う。 | ★畏敬の念とは、どのような心のあり様なのだろう。<br><br>1、P.164の写真を見て、好奇の感情を理解する。<br>2、「私」の抱いた畏れを想像する。<br>自分を見つめて考える<br>◎全力で丘を駆け下りながら、「私」はどのようなことを思っていたのだろう。<br>考えを深める<br>〇祖父の「自然の中で生きよるもんに、手を出したらあかん。」という言葉には、どのような考えや思いが込められているのだろう。<br>3、意見交流で出た「私」の心情と重ね合わせるように、自身の体験を振り返る。 | ●友達の考えを聞きながら、丘を駆け下りる「私」の心情について、生命を奪うことへの怖さや死に対する人間の無力さなど、さまざまな視点からとらえ考える様子がうかがえる。<br>●これまでに自然や生命に畏敬の念を感じた体験を振り返りながら、人の力を超えたものを素直に感じ取る心について、自己を見つめて考えている様子がうかがえる。 | ・理科―生物の体のつくりと働き／自然と人間<br>・総合―生命現象の神秘や不思議さと、そのすばらしさ<br><br>【現】生命尊重教育 |
| 3月<br>（2時間） | 34 | **千年先のふるさとへ<br>―宮城県女川町** | C16 | 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 | 郷土を愛する思い | 「いのちの石碑」に込められた女川中学校の生徒たちの郷土に対する思いについて考えることを通して、その地に生きる人々を育んできた郷土が有する多様な側面に気づき、自らの郷土を愛し、主体的にその発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。 | ★人にとって郷土とはどのような存在なのだろう。<br><br>1、【D】動画を視聴し、震災と中学生の話であることを確認する。<br>2、郷土とはどのような存在かを考える。<br>いろいろな見方で考える<br>◎「この町は流されてなんかいない。」とは、どういうことだろうか。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。<br>考えを深める<br>〇千年先のふるさとには、どのようなことが語り継がれていくのだろう。<br>3、【D】動画を視聴し、学びをもとに、自己を振り返る。<br>自分との対話<br>〇私たちにとって、郷土とはどのようなところなのだろう。<br>（Thinkingを読んで、防災について考える。） | ●友達の考えを聞きながら女川中学校の生徒たちの思いをさまざまな視点でとらえ郷土の多様な側面について考える様子がうかがえる。<br>●女川中学校の生徒たちの思いを自分自身に置き換えて想像し、郷土の先人や同じ地域に生きる人々への思いについて考えたり自分の思いを振り返ったりしている様子がうかがえる。 | ・社会科―公民：私たちと国際社会の諸課題（よりよい社会を目指して）<br>・理科―大地の成り立ちと変化／自然と人間<br>・総合―防災のための安全な町づくりとその取組<br>・学級活動―日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全（心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成）<br><br>【現】生命尊重教育／社会参画に関する教育／伝統文化教育／防災教育<br><br>【D】資料付き |
| | 35 | **小さな手鏡** | A1 | 自主、自律、自由と責任 | 自己の生き方を考える | 筆者の考えを知り、道徳科での学習を振り返ることを通して、自己理解、他者理解、人間理解に基づく自己の生き方を考える大切さに気づき、道徳的自覚に支えられた自律的な生き方を通じて人間としての誇りを大切にしようとする道徳的実践意欲を培う。 | ★「自己の生き方を考える」ことは、大切なことなのだろうか。<br><br>1、P.2～3を開き、道徳科の学びを振り返る。<br>自分を見つめて考える<br>〇自分を知ること、自分の意見をもつことはどうして大切なのだろう。<br><br>2、自分の学びを振り返り、意見交換をする。<br>考えを深める<br>◎中学校の道徳を通じて、あなたはどのような自分を知り、どのような人を知っただろう。これまでの学習を振り返ってみよう。<br>3、P.178、6行目からを読み、これから先の人生に思いをはせながら終わる。<br>自分との対話<br>〇あなたはこれから先、自分の人生をどのように歩んでいきたいだろう。 | ●友達の考えを聞きながら、道徳科で学んだことや道徳科の学習の意義について、さまざまな視点でとらえて考えている様子が授業中の交流からうかがえる。<br>●これまでの自分の学びを振り返り、自己の成長を認めながら、今後の人生について考えている様子がうかがえる。 | ・社会科―公民：私たちの国際社会の諸課題（よりよい社会を目指して）<br>・学級活動―学級や学校における生活づくりへの参画（学級や学校における生活上の諸課題の解決）<br>・総合―職業の選択と社会への貢献<br><br>【現】社会参画に関する教育 |